

# ±0

## Steam Humidifier Z210



スチーム式加湿器 Z210  
XQK-Z210

### 取扱説明書（保証書付）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書（保証書付）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書（保証書付）はいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。



## もくじ

安全に正しくお使いいただくために……………1-3	クエン酸洗浄のしかた……………13
お願い……………4	保管するときは……………14
設置場所について……………4	仕様……………14
各部のなまえ……………5	故障かな?と思ったら……………15-16
ご使用の前に……………6-7	アフターサービスについて……………17
使いかた……………8-9	お客様ご相談窓口のご案内……………18
アロマポットの使いかた……………10	保証書……………裏表紙
お手入れのしかた……………11-12	

取扱説明書・保証書には製品の色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している形名の()内の記号が色記号です。

この製品は日本国内用に設計されているため、海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

## 安全に正しくお使いいただくために 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意**：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

<p> は、してはいけない 「禁止」の内容です。</p>	<p> 一般的な禁止</p>	<p> 分解禁止</p>	<p> ぬれ手禁止</p>
	<p> 水ぬれ禁止</p>	<p> 接触禁止</p>	
<p> は、必ず実行していただく 「強制」の内容です。</p>	<p> 必ず行う</p>	<p> さし込みプラグを抜く</p>	

●本体表示の意味です。

<p> は、ご使用上「注意」して いただく内容です。</p>	<p> やけどに注意</p>	<p> 感電に注意</p>
---	---	--

「安全に正しくお使いいただくために」のイラストは、説明のための例です。実際の商品とは異なります。

**⚠ 警告**



**異常・故障時には、直ちに使用を中止する**

そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがに至るおそれがあります。

〈異常・故障例〉

- さし込みプラグやコードがふくれるなどの変形や変色、損傷している。
- さし込みプラグやコードが、いつもより熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 本体やタンクから水漏れする。
- 商品に触れると、ビリビリと電気を感じる。

※すぐにさし込みプラグを抜いて、±0カスタマーサポートセンターへ連絡ください。  
(☎ 18ページ)



**コードは乱暴に扱わない**

電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたりしない また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない

コードが破損し、火災・感電の原因となります。



**ぬれた手でさし込みプラグ・マグネットプラグの抜きさしはしない**

感電やけがをすることがあります。



**コードやプラグが傷んだときは使わない**

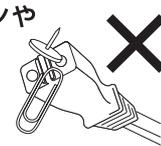
コードの一部やさし込みプラグが熱いとき、コードを動かすと通電したり、しなかったりするとき、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因となります。



**マグネットプラグにピンやごみを付着させない**

感電・ショート・発火の原因となります。



**さし込みプラグ・マグネットプラグは、奥まで確実にさし込む**

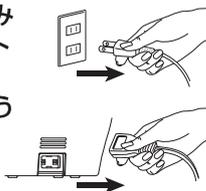
さし込みが不完全ですと、火災・感電・ショートの原因となります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



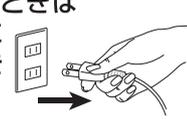
**お手入れはさし込みプラグ・マグネットプラグを抜いて十分冷めてから行う**

感電の原因となります。



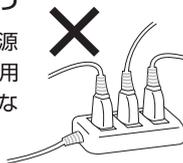
**さし込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに必ずさし込みプラグを持って引き抜く**

感電やショートによる発火を防ぐためです。



**電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う**

交流200V・船舶などの電源で使用したり、他の器具と併用すると、火災・感電の原因となります。



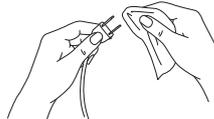
**使用中や使用後しばらくは、蒸気吹出口にさわったり、顔などを近づけない**

やけどの原因になります。特に乳幼児にはさわらないよう、注意してください。



**さし込みプラグ・マグネットプラグ・プラグ受けは清潔にする**

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

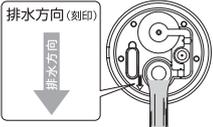
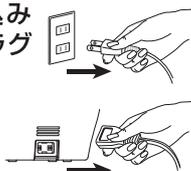
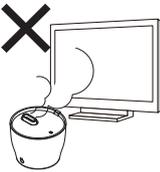


**修理・分解・改造はしない**

火災・感電・けがの原因となります。修理は、±0カスタマーサポートセンターへ連絡ください。  
(☎ 18ページ)



安全に正しくお使いいただくために 必ずお守りください

⚠ 警告	
<p> お手入れに下記の洗浄剤は使用しない 塩素系・酸性タイプ・アルカリ性・ポット用 洗浄剤（固形） 有毒ガスが発生し、健康を害したり、故障の 原因になります。</p>	<p> 幼児の手の届く所で使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水こぼれに注意 あやまって本体に力を加えると本体が 傾き、水や熱湯があふれ、水ぬれややけど の原因になります。</li> <li>●マグネットプラグをなめさせない 感電・けが・誤飲する 原因となります。</li> </ul> 
<p> 本体を水につけたり、かけたりしない 開口部から水が入り 込み、ショート・感電 の原因になります。</p> <p>水洗いは しないで!</p> 	
⚠ 注意	
<p> 使用中や使用後しばらくは、 持ち運びや、お手入れをしない やけどの原因になります。</p>	<p> 排水するときは、必ずタンク・蒸気 ダクト・クリーニングフィルター・水路 カバーをはずし、排水方向に排水する</p> <p>排水方向を誤ると、本体 開口部より水が入りこん で火災・感電の原因に なります。</p> 
<p> 使わない時は、さし込み プラグ・マグネットプラグ を抜いて排水する</p> <p>絶縁劣化して火災・感電・ 水濡れの原因となります。</p> 	<p> 暖房機・テレビなどの電化製品や、熱 に弱いテーブルなどの上やすぐ近くで 使用しない</p> <p>転倒すると漏れた水によって、 感電・ショートの原因になりま す。また、本体底面の熱により テーブルの変形・変色の原因 になります。</p> 
<p> フタ・タンク・水路カバー・蒸気 ダクト・クリーニングフィルター をはずしたまま使用しない</p> <p>蒸気が吹出口以外から漏れ出す場合があります。 また蒸気が予期せぬ方向に流れやけどの原因 になります。</p>	<p> 落とした本体・タンクを使用しない</p> <p>そのまま使うと破損箇所から 水漏れして、ショート・感電・ 発火の原因になります。</p> 
<p> ハンドルをもって振り回さない</p> <p>落とすとけがの 原因になります。</p> 	<p> タンクにアロマオイルや40℃以上のお湯・不純物の多い水を入れて使用 しない</p> <p>変形や故障の原因になります。また、熱湯があ ふれ、やけど・感電の原因になります。</p>
<p> 何度もタンクを上下に動かさない</p> <p>水や熱湯があふれ、 水漏れ・やけどの 原因になります。</p> 	<p> アロマオイルは、付属のアロマポット 以外には入れない</p> <p>本体に入ると熱湯があふれ、やけど・感電の 原因になります。</p>

## お願い 製品の破損・劣化・誤作動を防止するために必ずお守りください

### ●蒸気吹出口をふさがない

カーテンやタオルなどで蒸気吹出口をふさぐと、変形や故障の原因になります。

### ●加湿しすぎない

室内の結露や、カビが生える原因となります。

### ●こまめにお手入れをする

加熱皿に水アカが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や、故障の原因になります。

### ●凍結に注意する

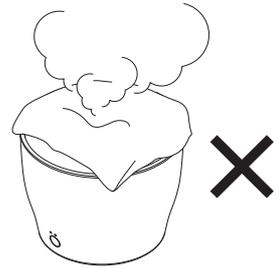
凍結の恐れがあるときは、タンクと本体の水を捨ててください。

凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

### ●水道水（飲用）以外は使わない

化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水・海水・ミネラル浄水器の水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水などを使用すると、本体内部に付着する水アカが多くなったり、故障の原因になります。

※床面に垂れた水滴はふいてください。そのまま乾くとぬれた場所が変色する場合があります。



## 設置場所について

### ●必ず安定した水平な場所に置いてください

### ●図の様に周囲との距離を十分にとってください

こんな場所に設置しない

●直射日光のあたるところ、温風があたるところ、暖房機のすぐ近く  
本体内部の温度が上昇し、温度過昇防止器がはたらき、運転を停止することがあります。

### ●蒸気が家具・壁・カーテン・天井などに直接あたるところ

家具・壁・カーテン・天井がいたんだり、しみや変形の原因になります。

### ●人の通る床や畳の上

つまずいてけがや、やけどの原因になります。

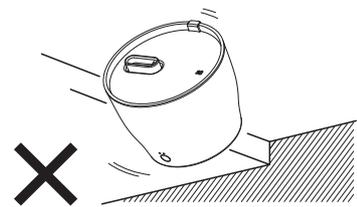
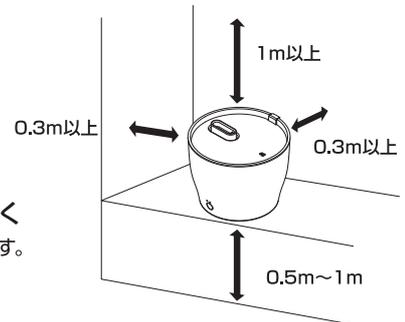
また、本体底面の熱により床材や畳が変色することがあります。

### ●カーペットやじゅうたん、ふとんなど柔らかいものの上

底面がふさがれると、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置がはたらくことがあります。

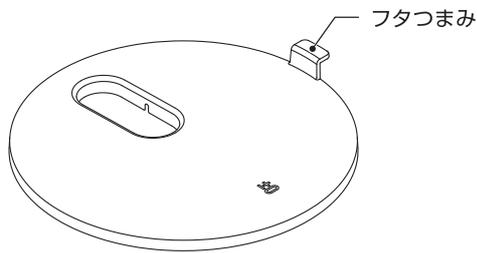
### ●高所や不安定な場所

転倒すると熱湯がこぼれて、やけどの原因になります。

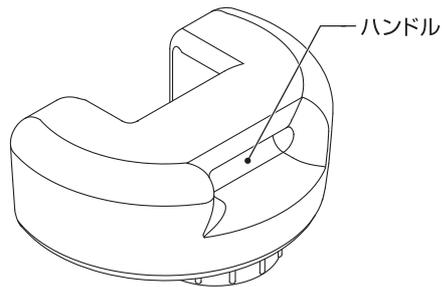


## 各部のなまえ

### フタ



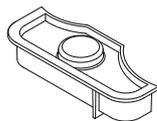
### タンク



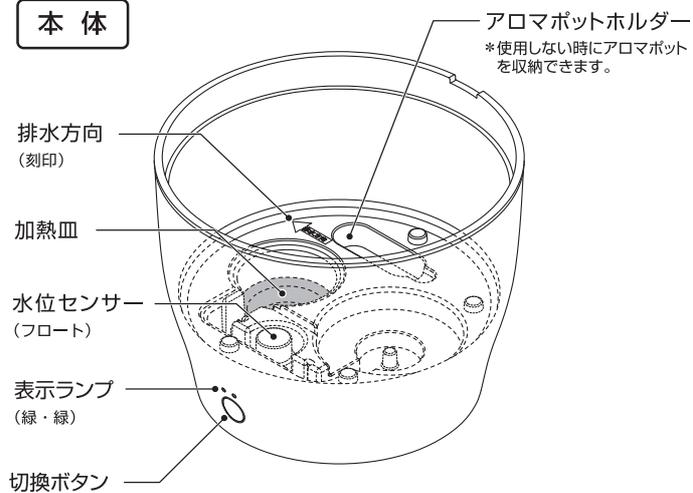
### 蒸気ダクト



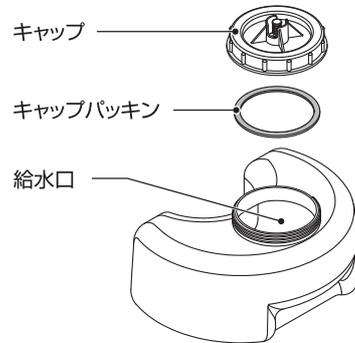
### 水路カバー



### 本体



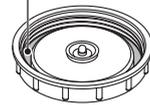
### タンク内面



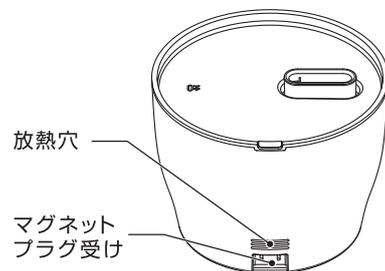
#### キャップ内面

キャップ内面に  
キャップパッキン  
があるか確認し  
てください。

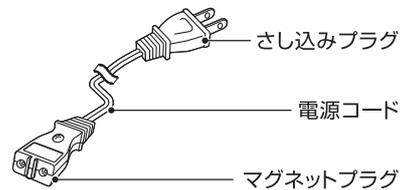
#### キャップパッキン



### 本体側面



### コードセット



### 付属品

アロマポット クリーニングフィルター(2枚)

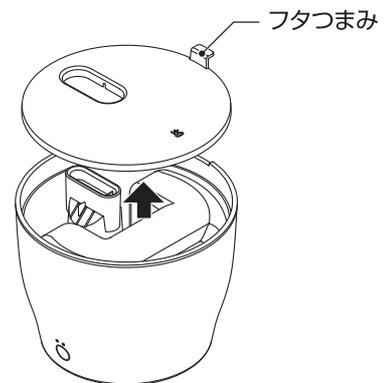


## ご使用前に (タンクに水を入れる)

次ページにつづく ▶

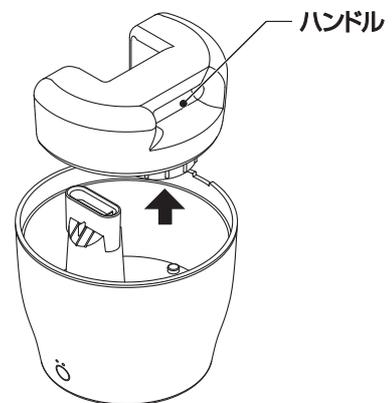
### 1. フタをはずす

フタつまみをもちゆっくり真上に持ち上げてください。



### 2. タンクをはずす

タンクのキャップに付着した水が落ちることがありますので、ゆっくり真上に持ち上げてください。



### 3. タンクに水を入れる

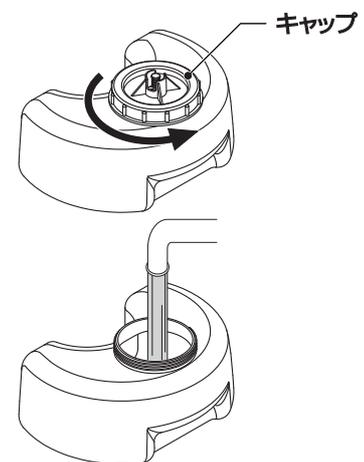
① タンクを裏返し、水平な台の上に置きます。

② キャップをはずします。

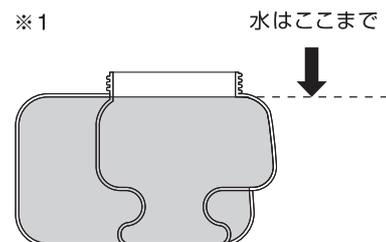
③ 水を入れます。

給水はタンクを水平に保ちながら、少しずつ入れてください。  
水は図のところ以上に入れないでください。(※1 参照)

④ キャップをしっかりと締めます。



芳香剤や40°C以上のお湯、不純物の多い水などを入れないでください。  
本体には直接水を入れずに、必ずタンクに水を入れた状態で使用してください。



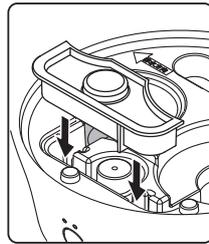
## ご使用前に (本体にセットする)

### 4. 本体に蒸気ダクトをセットする

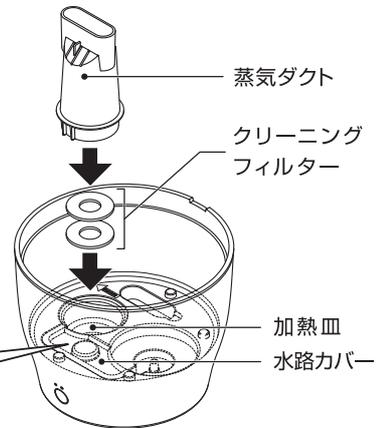
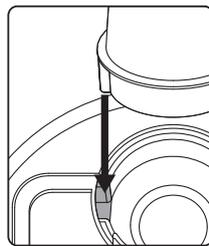
\*お買上げ時は、本体にセットしてあります。

- ①加熱皿にクリーニングフィルターを2枚入れます。  
※クリーニングフィルターは必ず、2枚セットでご使用ください。

- ②水路カバーをセットします。

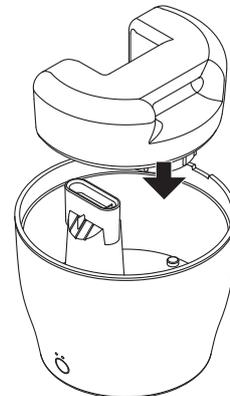


- ③蒸気ダクトの凸部と本体凹部を合わせてはめ込みます。

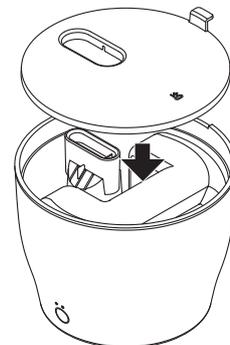


### 5. タンクを本体にセットする。

- ①本体を安定した水平な場所に置きます。
- ②水を入れたタンクを裏返します。
- ③タンクを水平にし、ゆっくりおろしてセットします。  
※タンクをセットした後に移動させないでください。



※タンクの着脱を繰り返したり、水の入ったタンクを本体にセットした後に移動させたりすると、タンクから本体に水が必要以上に流れて、水があふれることがあります。このような場合は、本体内の水を全て排水し、タンクを再セットしてください。(P.9参照)



### 6. フタを本体にセットする。

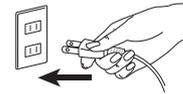
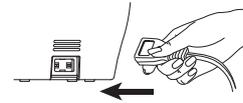
# 使いかた

次ページにつづく ➡

## 1. コードセットを接続する

### ① マグネットプラグを本体に接続します。

※本体を傾けてマグネットプラグを接続しないでください。  
故障の原因になったり、本体に水が必要以上に流れて水量が増え、熱湯があふれ出る原因になります。



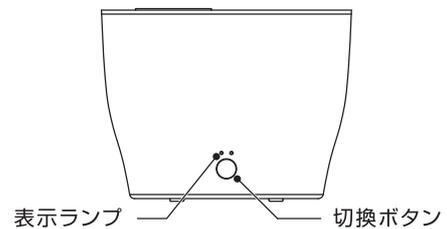
### ② さし込みプラグをコンセントに確実にさし込みます。

## 2. 切換ボタンでお好みの運転にセットする

押すたびに「標準モード」→「長時間モード」→「切」の順で切り替わります。

切換ボタンを押すと操作音が鳴り、表示ランプが点灯・消灯します。

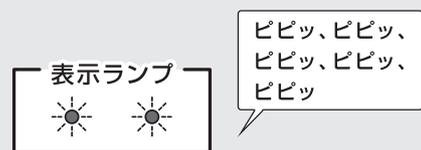
※加湿開始までの時間は、室温や水温によって変わります。



標準モード	消費電力290Wで加湿します。 (加湿量 約350ml/h)	表示ランプ ● ●	ピピッ
長時間モード	消費電力100Wで加湿します。 (加湿量 約100ml/h)	表示ランプ ○ ●	ピッ
切	加湿しません。 加湿運転 (=ヒーターの加熱) を停止します。	表示ランプ ○ ○	ピー

### タンクの水がなくなると...

加湿運転中、左右の表示ランプが同時に点滅し、お知らせ音が鳴ります。タンクに水を入れ、セットしてください。

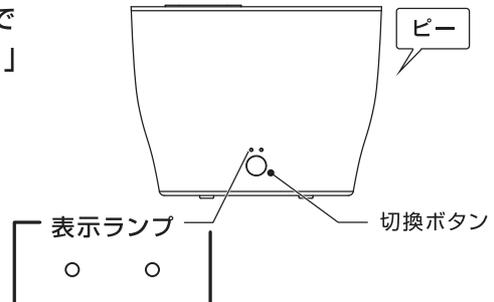


## 使いかた

### 3. 切換ボタンを押して「切」にする

「標準モード」でご使用の場合は2回、「長時間モード」でご使用の場合は1回押すと、操作音（ピー）が鳴り「切」の状態になります。

※表示ランプは、左右共に消灯します。



#### 長期間使用しないときは

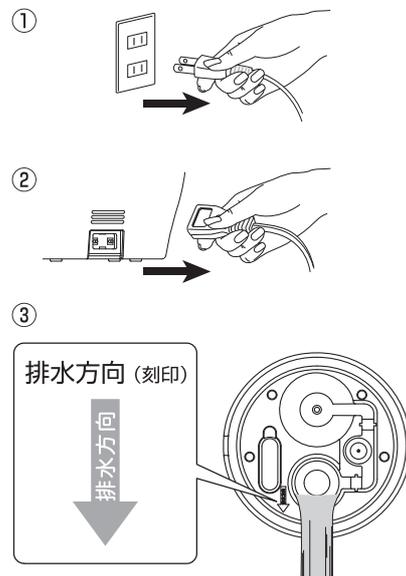
①さし込みプラグをコンセントから抜きます。

②マグネットプラグを本体からはずします。

③タンク、蒸気ダクト、クリーニングフィルター、水路カバーをはずし、本体およびタンクに残った水を排水します。

※タンク、蒸気ダクト、クリーニングフィルター、水路カバーをはずし、本体に刻印されている「排水方向」に本体を傾けて、ゆっくり排水してください。

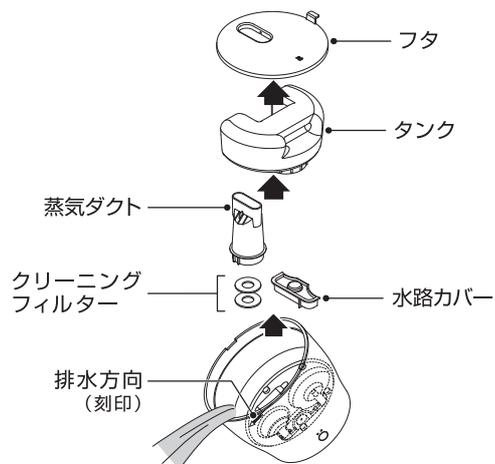
※タンクの水の排水方法は、14ページの「保管するときは」の1をご覧ください。



#### 本体の水の捨てかた

タンクをはずし、本体から蒸気ダクト・水路カバー・クリーニングフィルターを取り、本体に刻印されている「排水方向」に本体を傾けて、ゆっくりと排水します。

※排水するときは、さし込みプラグを抜いてしばらく放置し、本体内のお湯が十分冷めてから行ってください。



## アロマポットの使いかた

\*アロマオイルは市販品をお買い求めください。

### 1. アロマオイルをアロマポットに入れる

アロマオイルを入れるときは、必ずアロマポットを蒸気ダクトからはずして行ってください。

※こぼれたアロマオイルが加熱皿に入ると、故障の原因になります。

アロマオイルはポットの半分以下の水位でご使用ください。

※アロマポットに水滴が入るなどして、ポット内のアロマオイルの水位が半分以上になった場合には、すみやかにオイルを捨て、オイル水位が半分以下の状態を保ってご使用ください。

### 2. アロマポットを蒸気ダクトにセットする

アロマポットをセットする場合は、アロマオイルがこぼれないようにご注意ください。

※アロマポットのセット、取りはずしは使用中や使用後しばらくは行わないでください。やけどの原因になります。

※アロマオイルはアロマポット以外には入れないでください。

※使用中にアロマオイルの追加をしないでください。やけどの原因になります。

※アロマオイルが加熱皿や蒸気ダクトに落ちたときは、使用中を中止し水を捨て、よくふきとってから使用してください。

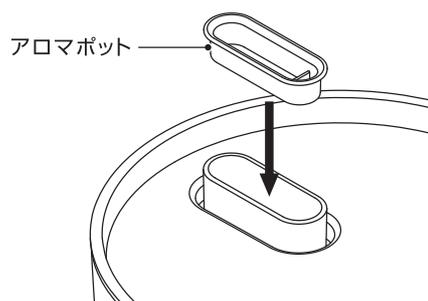
\*スポイト等を使用してください



\*半分以下の水位で使用してください



\*セット・取りはずしは、使用中・使用後しばらくは行わないでください



## お手入れのしかた 週に1~2回行ってください

### \*お手入れは定期的に行ってください

※汚れがひどくなると加湿量の低下や故障・悪臭の原因になります。

※ベンジンやシンナー、アルコール、アルカリ洗剤などは絶対に使用しないでください。  
本体や部品を傷めます。

### ⚠ 警告



お手入れはさし込み  
プラグ・マグネット  
プラグを抜いて十分  
冷めてから行う

感電ややけどの原因となります。



お手入れに下記の洗浄剤  
は使用しない

塩素系・酸性タイプ・アルカリ  
性・ポット用洗浄剤(固形)

有毒ガスが発生し、健康を害し  
たり、故障の原因になります。



本体を水につけたり、  
かけたりしない

開口部から水が入り込み、ショー  
ト・感電の原因になります。



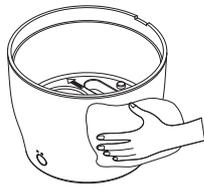
お手入れ後は十分乾燥させ、各部品は正しくセットしてから使用する

感電・水漏れの原因になります。

### 本体

柔らかい布でふきます。

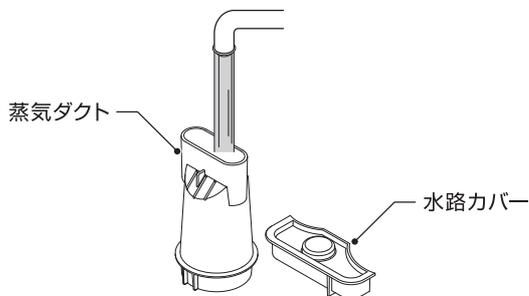
※汚れがひどいときは、うすめた台所用中性洗剤(食器用)を  
しみ込ませた柔らかい布でふいてから、乾いた布でふきとっ  
てください。



### 蒸気ダクト・水路カバー

水アカなどはうすめた台所用中性洗剤  
(食器用)で洗い、水で流します。

※お手入れをしない期間が長くなると、水アカが落ちにくく  
なりますので、週に1~2回はお手入れしてください。

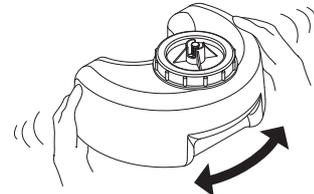


### タンク

タンクに少量の水を入れ、キャップを締めてよく振って洗った  
後、排水します。

(タンクを落とさないようにご注意ください。)

※汚れがひどいときは、2~3回  
くり返してください。



### クリーニングフィルター

水を流しながら柔らかくなるまでもみ洗いをします。

※水アカがたまるとクリーニング  
フィルターが固まり、加湿量の  
低下や水漏れの原因になります。



クリーニングフィルターは消耗品です。  
水アカがこびりついたり、破れた場合は交換品を販売  
店または ±0 カスタマーサポートセンター、±0 オンライン  
ストアにてお買い求めください。(P18ページ)

形名：XQF-C020(16枚入り)

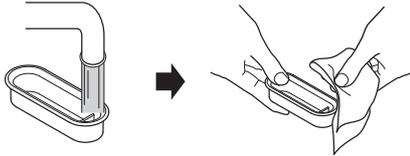
メーカー希望小売価格：1,000円(税抜)  
(希望小売価格は2019年8月現在のものです。)

\*捨てる時は、不燃ゴミとして捨ててください。

## アロマポット

うすめた台所用中性洗剤（食器用）で洗い、水で流し、水分をよくふきとってください。

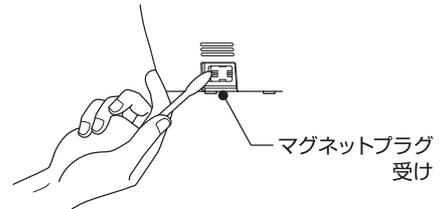
※アロマオイルが手についた場合は、せっけんでよく洗ってください。



## マグネットプラグ受け・マグネットプラグ

さし込みプラグとマグネットプラグを抜きます。

マグネットプラグ受け、マグネットプラグについたほこりや湿気を綿棒等でふきとります。



## 加熱皿

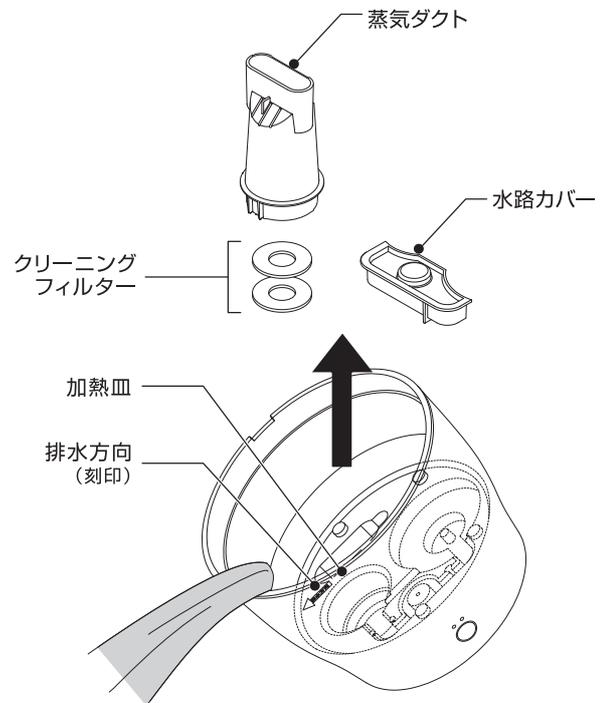
本体からタンク・蒸気ダクト・クリーニングフィルター・水路カバーを取り、本体に刻印されている「排水方向」に本体を傾けて、ゆっくりと排水します。

※排水するときは、さし込みプラグを抜いてしばらく放置し、本体内のお湯が十分冷めてから行ってください。

水アカやごみを取り除き、柔らかい布で水ぶきをしてください。

※お手入れをしない期間が長くなると、加熱皿のフッ素被膜がはがれたり、水アカが落ちにくくなりますので、週に1～2回はお手入れしてください。フッ素被膜がはがれても、加湿機能に影響はありません。

※加熱皿を金属タワシ等でこすらないでください。  
傷がつく原因になります。



## クエン酸洗浄のしかた

加熱皿の水アカが落ちにくいときは以下の手順でクエン酸洗浄を行ってください。

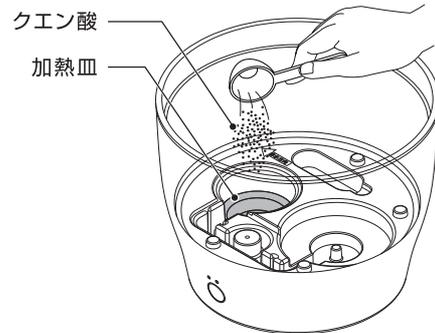
1. タンク、蒸気ダクト、クリーニングフィルター、水路カバーをはずし、排水方向から残った水を排水します。

2. 加熱皿にクエン酸約2.5g（計量スプーン小で約半分）を入れ、水路カバー、蒸気ダクトを取り付け、タンクに水を入れ、セットします。

※クエン酸が多いと、故障の原因になります。

※クエン酸は、必ず市販の顆粒タイプを使用してください。

※お買い求めのクエン酸洗浄剤の注意書をよく読み、正しくお使いください。



3. コードセットを接続し、切換ボタンを1回押し加湿「標準モード」で1時間加湿します。

4. 切換ボタンを2回押して「切」にし、1時間以上冷ましてからタンク、蒸気ダクト、水路カバーをはずし、排水方向から水を捨て柔らかい布で加熱皿に残った水アカをふきとります。

5. 再度蒸気ダクト、水路カバーをセットし、加熱皿に水がたまってからタンク、蒸気ダクト、水路カバーをはずし排水します。このすすぎ洗いを2～3回繰り返します。

6. タンクの水を入れ替えます。

※タンク内にもクエン酸成分が残ることがありますので、臭いの原因になります。

※クエン酸の臭いが発生するため、換気しながら行ってください。

※クエン酸は、食品添加物で食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

### お知らせ

水アカは、水道水に含まれているミネラル分（カルシウム、マグネシウム等）が析出したものです。水アカがたまるとクリーニングフィルターが固まり、加湿量の低下や水漏れ、不具合の原因になります。

## 保管するときは

\* 加湿器のご使用を終了し、保管するときは、必ずお手入れを行ってください。  
\* 水アカや水分が残ったまま加湿器を保管すると、再度お使いになる際に正常動作しない場合があります。

### 1. 残った水を排水する

本体に残った水を排水します

※9ページの「本体の水の捨て方」をご覧ください。

タンクに残った水を排水します

①タンクキャップが上を向いていることを確認し、キャップを開けます。

②そのままタンクをゆっくり逆さまにし、水を抜きます。

### 2. お手入れする

※11、12ページの「お手入れのしかた」をご覧ください。

### 3. 本体、タンク、蒸気ダクト、クリーニングフィルター、水路カバー、アロマポットの水をよくきり十分乾かす

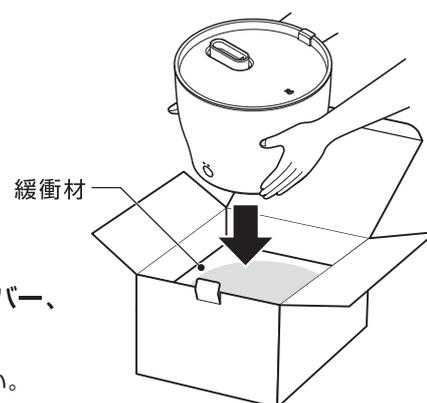
風通しが良く日の当たらない場所に、24時間以上置いて自然乾燥させてください。

### 4. お買上げ時の包装箱に入れて保管する

※コードセットはポリ袋に入れてください。

緩衝材(発砲スチロール)に触れると、コードが傷みます。

※高温になるところを避け、湿気の少ないところに保管してください。



## 仕様

形名	XQK-Z210
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	290W(標準モード時) 100W(長時間モード時)
加湿時間	約5.7時間(標準モード時) 約20時間(長時間モード時)
加湿量	約350ml/h(標準モード時) 約100ml/h(長時間モード時)
適用畳数(めやす)	木造/和室 6畳(約9m <sup>2</sup> ) プレハブ/洋室10畳(約16m <sup>2</sup> )
タンク容量	約2L
外形寸法	約H195×W250×D255mm
質量	約1.9 kg(タンク空時)
コード長	約2m
付属品	クリーニングフィルター(2枚)、アロマポット

## 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に次のことをお確かめください

症状	原因	処置
蒸気がでない	●タンクの水がなくなっている。	▶タンクに水を入れてください。
蒸気におう	●加熱皿やクリーニングフィルターが汚れている。	▶お手入れのしかたの通りに、汚れを取り除きます。 (☞11、12ページ)
	●古い水を使っている。	▶本体内とタンクの水を全て排水し、水を入れ直します。
加熱皿から水があふれる	●タンクのキャップから水漏れしている。	▶タンクのキャップをきちんと締めてください。それでも水漏れするときは、±0カスタマーサポートセンター(☞18ページ)にご相談ください。
	●タンクに水が入った本体を移動させたり、タンクを何度も上下させた。 ●本体を傾けたまま運転した。または、本体に直接給水した。	▶本体内の水を全て排水し、タンクを再セットしてください。 再セット後は、タンクを上下させたり本体を移動させないでください。
	●芳香剤や40℃以上のお湯・不純物の多い水を入れた。	▶本体内とタンクの水を全て排水し、水を入れ直します。

次のような場合は故障ではありません

症状	原因
タンクをセットしたときや使用中にポコポコと音がする	●タンクから本体に水が流れるためです。
なかなか蒸気がでない	●切換ボタンを押してから、加湿が始まるまでに時間がかかります。 室内の温度や湿度によっては、蒸気が見えにくい場合があります。
運転中に音がする	●沸騰音です。故障ではありません。
加湿器本体が温かい	●本体内部で水を沸騰させているからです。

### 異常表示について

誤った使いかたをすると運転を停止し、状況に応じて表示ランプが次のように点滅します。また、お知らせ音(ピーピーピーピー)がなります。

異常表示 ランプ	 右側の点滅
原因	●温度過昇防止器がはたらいています。
点検	●蒸気吹出口がふさがれていませんか。 ●底面がふさがれていませんか。 ●机の下など、狭い囲まれた場所で使用していませんか。 ●近くに他の暖房器具などありませんか。 ●本体側面の放熱穴がふさがれていませんか。 ●直射日光のあたる場所、温風があたる場所で使用していませんか。
処置	①さし込みプラグを抜いて、本体をよく冷ましてください。 ②点検をして、温度過昇防止器がはたらいた原因を取り除いてください。
処置しても 同じ場合	●水位センサー（フロート）の異常です。 ●水路がつまっています。   ●使用しないで±0カスタマーサポートセンターにご相談ください。 (☎18ページ)

## アフターサービスについて

### 保証書

- 保証書は必ず「お買い上げ日・取扱販売店名」等所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、お買い上げ販売店からお受け取りいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

### 修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理…保証書の記載内容により、 $\pm 0$  カスタマーサポートセンターが修理いたします。くわしくは、保証書をご覧ください。

### 補修用性能部品の保有期間

当社は、このスチーム式加湿器の補修用性能部品を製造打切後、6年保有しています。  
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### アフターサービスのお問い合わせ

修理に関するご相談ならびにご不明な点などは、 $\pm 0$  カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。  
※製品に異常のある場合に、お客様ご自身で修理されたり手を加えたりすることは大変危険です。絶対にしないでください。

## お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は下記へご連絡ください。

### ±0 カスタマーサポートセンター



ナビダイヤル

# 0570-01-5380

受付時間：月～金曜日 10～17時

※ 祝日、年末年始および弊社休業日を除きます。

メールでのお問い合わせ：<https://www.plusminuszero.jp/support/>

呼び出し音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。

(注) なお、上記番号はPHSではご利用いただけません。おそれいりますが、一般の電話か携帯電話をご利用ください。

消耗品・別売品のご購入は下記オンラインストアをご利用ください。

### ±0 オンラインストア

# <https://www.plusminuszero.jp>

(注) 一部の商品は送料が別途かかる場合があります。

# ±0 保証書

持込修理

品名	スチーム式加湿器 Z210	形名	XQK-Z210	取扱販売店名・住所・電話番号
お客様様	お名前 ふりがな 様			
	ご住所 〒 番 ( )			
保証期間	お買上げ年月日 年 月 日より <b>1年間</b> ただし消耗品は除く			

この保証書は、本書記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、±0 カスタマーサポートセンターに修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。お買上げ年月日、販売店名などの記入漏れがありますと無効です。記入のない場合は、お買上げの販売店にお申し出ください。ご転居、ご贈答品などでお買上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、18ページに記載しております、±0カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

## < 無料修理規定 >

- 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には±0カスタマーサポートセンターが無料修理いたします。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
  - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
  - お買上げ後の取付場所の移動、または落とされた場合などによる故障・損傷。
  - 火災・公害・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
  - 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用したときの故障または損傷。
  - 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合などによる故障・損傷。
  - ご使用後のキズ・汚れ・変色および保管上の不備による損傷。
  - 消耗部品の交換・仕様変更など。

- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

- 個人情報の取扱いについて  
本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従いましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合はお買上げの販売店、または±0カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または修理用性能部品の保有期間につきまして、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

発売元 プラマイゼロ株式会社

〒104-0031  
東京都中央区京橋 2-1-3  
京橋トラストタワー 8F  
<https://www.plusminuszero.jp>

© PLUS MINUS ZERO CO.,LTD. 2019  
発行年月 2019年 8月